

平成23年9月5日

杉並区議会議長

藤本 なおや 様

道路交通対策特別委員会

委員長 北 明 範

### 道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 活動年月日

- (1) 平成23年5月30日 正副委員長互選
- (2) 平成23年6月27日 報告聴取
- (3) 平成23年7月21日 委員の派遣

#### 2 活動経過

- (1) 5月30日

正副委員長の互選を行い、その結果、委員長には北明範委員、副委員長には今井ひろし委員がそれぞれ選出された。

- (2) 6月27日

以下のとおり4件の報告を聴取した後、質疑応答を行った。

##### ① 東京外かく環状道路について

東京都は、外環の地上部街路（外環の2）について、道路の必要性やあり方などについて広く意見を聴きながら検討を進め、都市計画に関する都の方針をとりまとめていくとしており、杉並区でも武蔵野市・練馬区に続き話し合いの会を開催することにした。話し合いの会は、公募により決定した10名を含む沿線地域住民22名と、国・都・区の職員で構成される、とのこと。

国は今年2月に外環道のB/C、費用便益比2.3を公表し、6月には東京外かく環状道路国道事務所からこの算出の前提となる外環本線の交通量推計が示された、とのこと。

② 放射第5号線について

都は、今年1月から2月に沿道の土地建物所有者を対象に、一部トンネル案の趣旨や留意事項について説明したうえで、道路構造についての意向調査を実施し、その結果を「三建・放5ニュース」やホームページで公表し、区では「広報すぎなみ」6月11日号に掲載した、とのこと。

③ エイトライナーについて

エイトライナーと環7高速鉄道(メトロセブン)の構想を合わせた区部周辺部環状公共交通(仮称)は、平成12年に開催された運輸政策審議会答申において「今後整備について検討すべき路線(B路線)」と位置づけられている。平成27年に想定される交通政策審議会において「目標年次までに開業または、整備着手することが適当である路線(A路線)」に位置づけられることを目指して活動を行っている、とのこと。

④ 自転車対策と南北バスについて

自転車対策については、放置自転車及び撤去台数の減少に伴い、昨年度、和泉自転車集積所を廃止し、永福自転車集積所に統合した。また、民間事業者が区の補助制度を活用して整備した駐車場は昨年度2所、収容台数は計404台である、とのこと。

南北バスについては、22年度コミュニティバス新路線検討の結果、高円寺駅と永福町駅を結ぶ済美山グラウンド周辺の検証地域においては、従前の南北バスすぎ丸で実施してきたような細街路を通る乗り合い型のコミュニティバスの導入は困難である、と言わざるを得ない。その理由は、従来に比べ車両制限令に基づく車道幅員の指導基準が厳しくなったため、全線にわたって基準を満たす幅員の道路が連続しているルートが確保できない、バスを小型にしても1人当たりの運行コストが高く採算性が低い、などであり、今年度は検証地区内において、複数の小規模なルートの設定や、相互の接続による組み合わせが可能かどうか検討を行っていく、とのこと。

(3) 7月21日

東京外かく環状道路及び放射第5号線について理解を深めるため、委員の派遣を行い、以下の場所を視察した。

① 東京外かく環状道路予定地

善福寺4丁目・女子大通り・立教女学院周辺・東八道路(三鷹3・2・2号線)における予定地

② 放射第5号線予定地

玉川上水牟礼橋から岩崎橋までの予定地及びモデル整備区間

以上